

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
http://saitokuji.tobiiro.jp/  
発行人 脇阪 義幸  
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



川崎大師大本堂内提灯・五十嵐肇作

## 今月の予定

- |               |         |                               |
|---------------|---------|-------------------------------|
| 10日(土)        | 午後3時15分 | 混声合唱団「エコー」練習                  |
| 13日(火)~16日(金) |         | 盂蘭盆会                          |
| 23日(金)        | 午後3時    | 総代会                           |
| 24日(土)        | 午後3時    | 第6回 燈虹塾「大人も子供も! 和楽器体験講座」(要予約) |
| 25日(日)        | 午後5時    | 西徳寺主催バーベキュー大会                 |
| 31日(土)        | 午後2時    | 評議員会定例役員会                     |





## 8月の山門の言葉

# 夜の長さは明かりを楽しむ時間でもある

デザイナー 坂川 栄治

えこおファイル在庫あります。

電気がなかった当時、人は日の出と共に起き、夜になれば行燈を点けたり、あるいは暗くなったから眠るといふ、光と闇と共に過ごしていた。

日本で初めて白熱電灯が灯されたのは一八八五年、東京銀行集会所開業式だそう。それからというものの、私たちの生活は一変し、百年ほど経った今では街の至るところが明るくなった。今やどこもかしこも上から蛍光灯をぶら下げ、二十四時間営業も珍しくない、昼も夜もない風景となった。

ところで夜といえ、近所のおばあちゃんから「悪いことするとおばけが出るぞ」と脅かされて、暗がりや怖がったことを思い出す。けれども今思えば、そうやって礼儀や作法を教わっていたのだと気づかされる。

夏はおばけの季節である。今日はおばけも科学で説明されつつあるが、技術がどれだけ進んでも、説明できないこともあるだろう。暗闇は確かに怖いけれども、暗がりから教わることもあるのである。この夏は、蛍光灯を消して夜を楽しむのも一興である。そして光の大切さを、闇から教わるうではないか。

(高橋 淳記)



七月に掲げた山門の言葉  
「闇をとおして  
光はいよいよ光る」  
を皆さんはどう聞いたのか、  
お尋ねしました。



私は  
こう聞いた!!

「闇と光」と聞くと、表裏一体という感じがする。

入社当時の事を思いかえすと、先輩から叱られることが辛い嫌になる事もあった。今となっては糧にはなっているのかなあと、少しは感じる。

(20代男性 会社員)

子供が産まれる時も子宮内暗闇から産道の光をめざして産まれてくるそうです。夜明け前が一番暗い、嵐の前の静けさなども、もしかしたら似たような言葉なのかもしれません。

闇あってこそその光だと思います。

(40代 女性 自由業)



まっとうに生きている様に見える善人にも他人からは見えない闇の部分は必ずあり、逆に罪人が償い、這い上がろうとする姿に光を感じる事もある。表裏一体、紙一重。

誰もが善悪隣り合わせにある事を忘れてはならない…笑顔が絶えない居場所、仲間を大切にしたい。そう願う心こそが、光ではないかと思う。

(40歳 男性 ミュージシャン)







今回は、西徳寺の門徒さんであり、台東区下谷の地で約170年、江戸時代から続いている五十嵐提灯さんに取材に行ってみました。4代目五十嵐肇さんは、18歳のころから家の手伝いで提灯の字入れを始め、今なお第一線で活躍されています。先代のお父さんは浅草寺のシンボルである大提灯の字を書かれていたそうです。当代の五十嵐さんは、川崎大師の大本堂内に1対ある大提灯や、西徳寺の斜向かいにある神社内の提灯も手掛けておられます。

## 五十嵐提灯



1. まずは分回しで円を描きます。



2. 文字を書く準備です。定規代わりにして文字の大きさを決めます。



3. まず薄墨で下書きをします。見本なしに一気に筆を進めていきます。



6. 中を塗ります。普段は奥様の担当だそうです。が、特別に塗ってもらいました(笑)。



5. 一文字にかかった時間は約3分。速い!これぞ職人技!!



4. 縁取りをしていきます。とにかく書くペースが速く、躊躇はありません。



7. 墨が乾いたら、2度3度と上塗りをして、ムラにならないように仕上げます。



初代(左)とその師匠(右)です。分かりづらいですがまげを結っておられます。



大正時代の店先の様子。今の柳通りにあたります。

いつも同じ姿勢なのが大変だと五十嵐さん。椅子に座った方が体は楽だけど、力加減や作業のことを考えると、あぐらでの作業が一番しっくりくと妥協を許さない姿勢に、職人の気質を感じました。代々受け継がれてきた手法や道具を大切に、自分の仕事に誇りと責任を持っておられる姿は、本当に魅力的でした。



提灯の原形といわれる懐中提灯。当時の旅人が懐に入れて持ち歩けるように小さくするための工夫がなされています。



字体は決まっていなく、師から弟子へ継承されていくその店オリジナルの字体だそうです。



### 五十嵐提灯

東京都台東区根岸3-2-13-101  
TEL:03-3872-3981



約100年前のペンチです。あまりに貴重なため、五十嵐さんも今は使っていないそうです(笑)。



分回し(今のコンパス)50年以上使っているそうです。道具も自分に合うよう手作りするそうです。



# 法語カレンダー 八月

涅槃の真因は

ただ信心をもつてす

「神社とお寺の違いはな〜んだ？」小学校低学年の娘からの唐突な質問に狼狽したことを思い出した。答えは「神社はこれからのことをお願いするところ、お寺は今日までのことを感謝するところ。」とのこと。情報源は本だと聞いて少し安心した。

願いや希望、そして夢をもつのが人間。不安をかき消し安心が欲しい。しかし今日ここに生きているという不思議さや感謝は忘れている。空(上)に向かって自分の願いを吐き続ける私。その私を支えてきた足許(あしもと)に眼を向けさせる心が信心。「吾唯足知」(われただたるをしる)世界に本当の安心があるのだろうか。

(山崎 哲)

The true cause of attaining nirvana is the entrusting heart alone.

語句説明 cause：原因  
attain：成し遂げる、達成する、獲得する  
nirvana：涅槃 entrust：任せる、委ねる  
alone：ただ〜だけ、〜のみ

## 一口メモ

涅槃はサンスクリット語のニルバーナの音写です。もともとは吹き消す、消滅するという意味だそうです。燃え盛っている煩惱の炎が吹き消されるのは、ただ阿弥陀さんにお任せするだけだと説かれます。自分の力では消せないのでしょうか。

## 夏のしめくり! 西徳寺 BBQ大会

実行委員 西徳寺佛教青年会

- 会場：西徳寺境内
- 日時：令和元年8月25日(日)
- 時刻：午後5時より  
(始めに本堂で「正信偈」のお勤めをいたします)
- 会費：大人2,000円(高校生以上)  
子供1,000円(小学生と中学生)  
(小学生未満は無料)



会費の一部を、東日本大震災で被害に遭われた福島県自治体へ、義捐金としてお送りします。

※参加される人数を西徳寺寺務所までお知らせください。

問い合わせ先 TEL03-3875-3351  
西徳寺青年会担当 仲井まで

年間の墓地管理料・維持会費のご納入をお願いします。



## 第6回 江戸伝統文化 燈虹塾「大人も子供も! 和楽器体験講座」

ピアノやギター、木琴や鉄琴・・・学校には洋楽器は沢山あったけど、和楽器は見かけなかった。触れる機会も少なく何となく縁遠い存在。

「そんなことはない!」燈虹塾の望月太左衛氏は声を大にする。触れば伝わり打てば響く。なぜなら日本人なんだから・・・。

ということで第6回の燈虹塾は下記の内容で「和楽器体験講座」の開催が決定!大人から子供まで参加して欲しいとの願いから、夏休みの土曜日にいたしました。是非ご参加ください! (燈虹塾事務局長: 山崎 哲)

—記—

日時 令和元年8月24日(土)  
15:00 ~ 17:00

場所 西徳寺 伽羅の間

会費 1000円  
(中学生以下無料! 付添の大人も無料)

講師 燈虹塾理事 望月太左衛

※要予約: ご参加希望の方は西徳寺(山崎・高橋)までお電話ください。

TEL 03-3875-3351

## 評議員会総会報告

去る6月30日(日)、西徳寺本堂におきまして「令和元年度西徳寺評議員会総会」が開催されました。来賓として責任役員の小田周太朗様、総代の阿部雅栄様・高崎紹典様をお招きし、評議員19名出席のもと行われました。

挨拶として竹内乾一郎会長から、「評議員会則」の改正や2013年に本山で厳修される「慶讃法会」への団体参拝へのお誘いが語られ、来賓の小田周太朗様からは、「寺則検討委員会」によって今年度中には新しい「西徳寺寺則」を東京都に申請することが述べられました。

総会は竹内会長が議長を務め、すべての議案が承認されました。小田周太朗責任役員か

らは「平成30年度西徳寺会計決算報告」について説明があり、皆様にご理解をいただきました。

また会計監査の関口哲也様が退任され、後任として加藤晃司様が就任されました。

総会終了後、西徳寺会館2階「梅檀の間」で懇親会を開き、安藤貴史幹事の司会のもと、楽しく賑やかに親睦を深めることができました。

(木村 専正 記)



## 懐かしのクラシックを唄う ~3人のコンサート~

圧巻のステージでした。

去る6月22日、評議員会会長ならびに混声合唱団「エコー」団長を務める竹内乾一郎さんが、ソプラノ・猪瀬守恵さん、バス・バリトン・狩野嘉昭さんと共に西徳寺本堂にてコンサートを開催しました。その曲数全部で20曲!コンサート開始の前に読経があり、それからクラ

シックの音色が本堂にこだまするという、他所では味わえない時間を過ごすことができました。

さらに竹内さんの奥様・圭子さん作製のパンの花フラワーアレンジメントによって、舞台がより一層華やかに!観客一同からは大きな拍手が鳴り響いておりました。

(高橋 淳 記)



左から狩野嘉昭さん、猪瀬守恵さん、竹内乾一郎さん、竹内圭子さん、金澤麻里子さん(ピアノ)



## えこお志お礼

墨田区 星野 登代子 様  
さいたま市 井上 實 様

ご浄財を頂戴いたしまして  
ありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもって  
お礼とさせていただきます。



## 墓地工事進捗状況

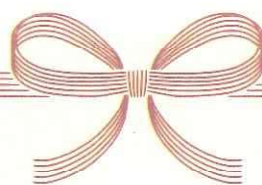
現在は屋外の1号地(寺務所寄り)を修復しており、工期は本年中となっております。

お盆やお彼岸等のお参りに支障がでないかたちで進めておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### (墓地修復工事について)

昨年は屋外3号地(第二会館寄り)の修復を中心に行いました。1号地終了後2号地(本堂裏)を修復する予定です。墓地修復工事は屋外墓地に限らず、随時行って参ります。

改めて、墓地管理料をお納め頂きますようお願い申し上げます。



## Relation ～縁～

Relation: 関係、関連、結びつき

「えこお」にたいしていろいろな感想をいただきます。もちろん「興味深く読んでいます」という感想もあれば、「こうしたほうがいい」とご指摘して下さることもあります。どちらにしても、寺からの一方的な発信で終わらず、読者の方々も「えこお」編集の一端を担っていただき、共に西徳寺の伝道誌を製作していく。これこそ“relation”をこの1年の編集テーマに掲げた「えこお」の醍醐味ではないかと思えます。これからも皆様の忌憚のないご感想、ご意見をお寄せください。

(蓮井 邦宗 記)


昨年の6月の山門の言葉は「いい日旅立ち」の歌詞、「ああ日本のどこかに 私を待ってる人がいる」。脇阪住職が取り上げられ、山門の掲示板に掲げられた。それを見かけた知人(飲み友達)は結婚相談所に登録し、先日ご結婚が決まったようだ。

言葉の力に改めて驚く……。まあとにかく、「新たな門出に幸あれ!」。

(山崎 哲 記)



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

 [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook